

## オンラインによる国際交流イベントを実施

5月13日、国際交流センターは、協定校である仁荷大学<sup>イナ</sup>（韓国）と学内応募で選ばれた獨大生14名によるオンライン学生交流会を行った。仁荷大生による韓国紹介の後、グループに分かれて日本語と韓国語を交えながら会話し、計28名の学生が日韓交流を楽しんだ。

5月25日には、獨大生18名が各国からの交換留学生等とともに対話型イベント「J-Café」を実施した。同企画は学生主体の取り組みであり、7月まで3回にわたり開催される。初回は「私の地元紹介」をテーマに、獨大生が作った草加市を紹介する動画を視聴。その後グループに分かれてそれぞれの「地元」について、日本語と折衷英語を混ぜて会話を楽しんだ。

海外との交流が難しい時期ではあるが、国際交流センターでは今後もさまざまな形で国際交流の機会を提供していく。



韓国・仁荷大学との交流の様子

## 父母の会総会 開催

5月15日、2021年度獨協大学父母の会総会が新型コロナウイルス感染症対策を十分にとった上で、東棟102教室で行われた。

山路朝彦学長・父母の会名誉会長は「新型コロナウイルス感染症対応に際しては、多大なご寄付、ご寄贈を賜りました」と、同会の支援に謝意を表すとともに、大学における新型コロナウイルスへの対策をとりつつ教育の継続に取り組む決意を述べた。野間綾子代表幹事の挨拶の後、2020年度収支決算と2021年度父母の会正会員幹事及び監査11名が承認された。

総会終了後、新役員による第1回幹事会が開催され、代表幹事に野間綾子氏が再び選任されたほか、副代表幹事と執行幹事が決まり、2021年度の父母の会の活動がスタートした。なお懇親会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせた。



挨拶を述べる山路朝彦学長

## 高校教員対象入試説明会を開催

6月2日、入試課は、高校教員を対象とした「獨協大学入試説明会」を開催した。今回は対面による開催に加え、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン配信も行った。事前申し込みはオンライン視聴も合わせ197名（164校）あり、当日は102校から105名の高校教員が来学した。

西棟102教室を会場とした第I部では、駿台教育研究所の石原賢一進学情報事業部長による「2021年度大学入学共通テストの分析と私大入試結果について」と題した講演と、指物敏一入試課長による「獨協大学2021年度入試結果と2022年度の新たな入試制度について」の説明があった。第II部では、会場を同棟2階の教室に移し、学科別個別相談会を実施した。第I部同様、多くの高校教員が参加し、相談ブースに訪れた。

入試・入学選抜に関する相談は入試課まで（TEL 048-946-1900）



## 5月6日以降の授業方針について（報告）

ホームページ等でお知らせしている通り、埼玉県および草加市に発出された「まん延防止等重点措置等に基づく協力要請」および東京都に発令された「緊急事態宣言」により、一時的に学内への入構者数を少なくする措置として、5月6日（木）から6月12日（土）までを「遠隔授業拡大期間」としました。

6月14日（月）以降については、6月19日（土）までの対面授業再開に向けての移行期間を設けて、再開準備ができた授業から順次対面授業を実施。6月21日（月）以降は、「2021年2月26日付ホームページ掲出の「2021年度新学期に向けて」で示した通り、今年度の授業に関する基本方針に従い、対面授業を基本としました。

今後の感染拡大状況および社会情勢によっては、授業実施方法を見直すこともあります。



## 大学内にWeb就職面接用 個室ブースを設置

キャリアセンターは、今春、学生の就職活動におけるWeb面接用個室ブースを4か所設置し、学業と就職活動を両立できる環境を整備した。

現在、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、多くの企業が採用活動にWeb面接を導入している。一方、2021年度春学期は対面授業中心のスタートとなったことから、遠距離通学をしている学生や、授業の合間などに採用試験を受けたい学生から「キャンパス内でWeb面接を受けることのできる施設はないか」という問い合わせが寄せられた。今回、そんな学生のニーズに応える形で、面接に必要な静穏性と機密性を確保した個室ブースをキャリアセンター内に設置した。

「いぬいときお 乾 凱雄」キャリアセンター事務課職員は「4年生に限らず、インターシップの選考などで、3年生の利用も開始しています。利用者からの要望を受け、個室内に照明を導入するなど改善も加えました。今後も授業と両立し、安心して就職活動を行える環境を整備していきます」と語っていた。

